

足元の運用状況と注目銘柄のご紹介 ～ASEANの成長分野である消費関連～

高成長ASEAN小型株式ファンド 追加型投信/海外/資産複合

- ▶ 本レポートでは、当ファンドが投資している「マニユライフ・ASEAN小型株式ファンド(適格機関投資家専用)」(以下投資先ファンド)の運用状況と、運用会社であるマニユライフ・インベストメント・マネジメントの注目銘柄をご紹介します。

設定来の市場動向と運用状況

世界的な金利上昇を受けて株式市場は軟調に推移

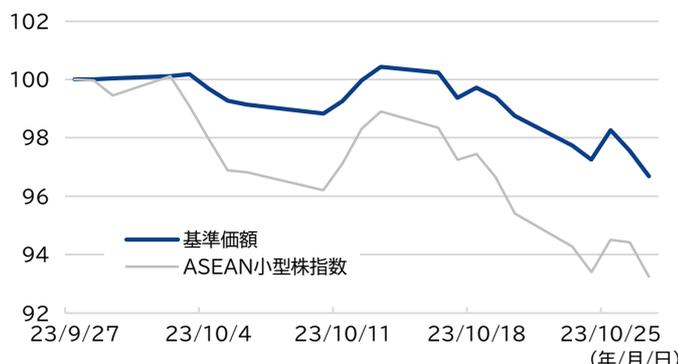
当ファンド設定以来、ASEAN株式市場を含む世界の株式市場は軟調に推移しました。

こうした中、ASEAN小型株式市場の変動性も高まりました。一方、当ファンドの基準価額は設定来で下落しているものの、ASEAN小型株式市場と比較して相対的に下落が抑制されている状況です。ポートフォリオでは成長性とクオリティの双方で魅力度の高い銘柄を組み入れており、ASEANにおける消費拡大の恩恵を受ける銘柄にも注目しています。

以下ではASEANの消費関連銘柄に焦点を当てて注目銘柄をご紹介します。

図表1 設定来の基準価額とASEAN小型株指数の推移

(期間 2023年9月27日～2023年10月27日、日次、配当込み、円換算ベース)



※ASEAN小型株指数は、MSCI AC ASEAN Small Cap USD Grossを使用。
※指数は現地1営業日前の指数を当日の為替レート(TTM)で円換算。
※上記のグラフの基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

注目銘柄の紹介

注目銘柄① ブルーバード (インドネシア)

タクシー業界のDX化を先導する企業

インドネシアのタクシー運営会社、ブルーバードは国内のタクシー企業として高いブランド力を有しています。また、独自の配車アプリケーション「MyBluebird」やキャッシュレス決済をいち早く導入し、デジタル戦略による顧客獲得にも積極的な経営を行っています。

今後は、デジタルプラットフォームの活用によりユーザーの利便性が高まることで、インドネシアが擁する豊富な若年層や観光客を一段と惹きつけることが可能と考えます。また、顧客の囲い込みを進めることにより、中長期的に安定した利益成長が実現できる点に注目しています。

図表2 ブルーバードの株価推移

(期間 2021年10月26日～2023年10月26日、日次)



(図表1～2の出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

注目銘柄②

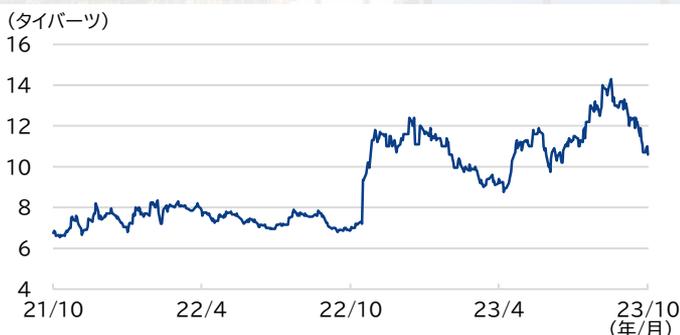
タオケーノイ・フード・アンド・マーケティング (タイ)

ヘルシーな「海苔スナック」の先駆者

タオケーノイ・フード・アンド・マーケティングは、海苔をベースとしたスナック菓子を主力商品とする新興スナックメーカーです。国内外で高い認知度を有しており、「海苔」という素材を使うことにより、他のスナック菓子メーカーとの差別化を実現しています。

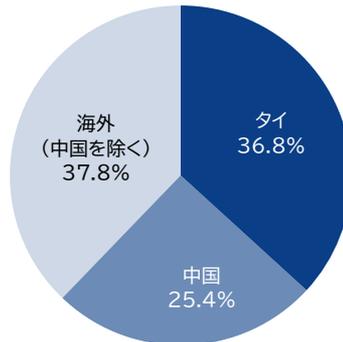
オンラインマーケティングを中心とした販売促進に積極的であり、「デジタルネイティブ」なASEAN域内の若年層からの需要拡大が期待できるほか、海苔スナックは栄養価が高く、低カロリーであることから、世界的な健康志向の高まりに伴うASEAN域外での成長機会にも注目しています。

図表3 タオケーノイ・フード・アンド・マーケティングの株価推移
(期間 2021年10月26日～2023年10月26日、日次)



(出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表4 タオケーノイ・フード・アンド・マーケティングの
地域別売上高比率
(2023年6月時点)



(出所) 同社資料を基にSBI岡三アセットマネジメント作成

注目銘柄③

IGBリアル・エステート・インベストメント・ トラスト (マレーシア)

消費拡大で恩恵を受けるモール運営企業

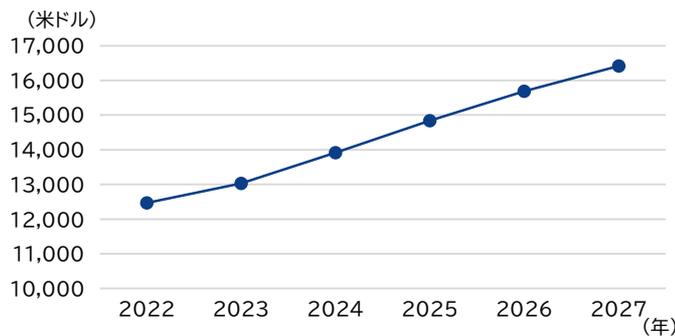
マレーシアの不動産投資信託(REIT)であるIGBリアル・エステート・インベストメント・トラストは、主に小売り用不動産を運営し、大衆向けのショッピングモールや高級ブランドを取り扱う百貨店を保有しています。

同社が運営する物件はマレーシアを代表する大型ショッピング施設で、好立地などを競争力とし、安定して高い稼働率を有している点に注目しています。安定した収益確保を背景とした高い分配利回り(6.0%*)も魅力です。

また、マレーシアは個人消費などを足掛かりに持続的な経済成長が期待できる市場で、伝統的なショッピングモールに対する需要が拡大すると見込まれます。同社の既存店舗運営や立地に対するノウハウの蓄積が、今後の競争力につながると考えています。

図表5 マレーシア一人当たりGDPの推移

(期間 2022年～2027年、年次、予想を含む)



※2023年以降は予想値

(出所) IMFのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

*2023年10月26日時点の予想分配利回り

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

高成長ASEAN小型株式ファンドに関する留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様様に帰属します。ファンドは、アセアン諸国の株式、不動産投資信託証券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「不動産投資信託証券のリスク(価格変動リスク、分配金(配当金)減少リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「不動産投資信託証券のその他のリスク(信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク)があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料 : $\text{購入金額(購入価額} \times \text{購入口数)} \times \text{上限} 3.3\% \text{ (税抜} 3.0\%)$
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料 : ありません。
信託財産留保額: $1\text{口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額} \times 0.3\%$

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用(信託報酬)
: $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.166\% \text{ (税抜} 1.06\%)$
運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
: $\text{純資産総額} \times \text{年率} 2.046\% \text{ (税抜} 1.86\%) \text{程度}$
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
監査費用 : $\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.0132\% \text{ (税抜} 0.012\%)$
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社一覧 (2023年11月2日現在)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
 なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)